パッケージ業界に特化したデータ管理システム

オフセット・グラビア・フレキソ・樹脂凸版のパッケージ / ラベル印刷向け

JOBDATA CLOUD INDEX

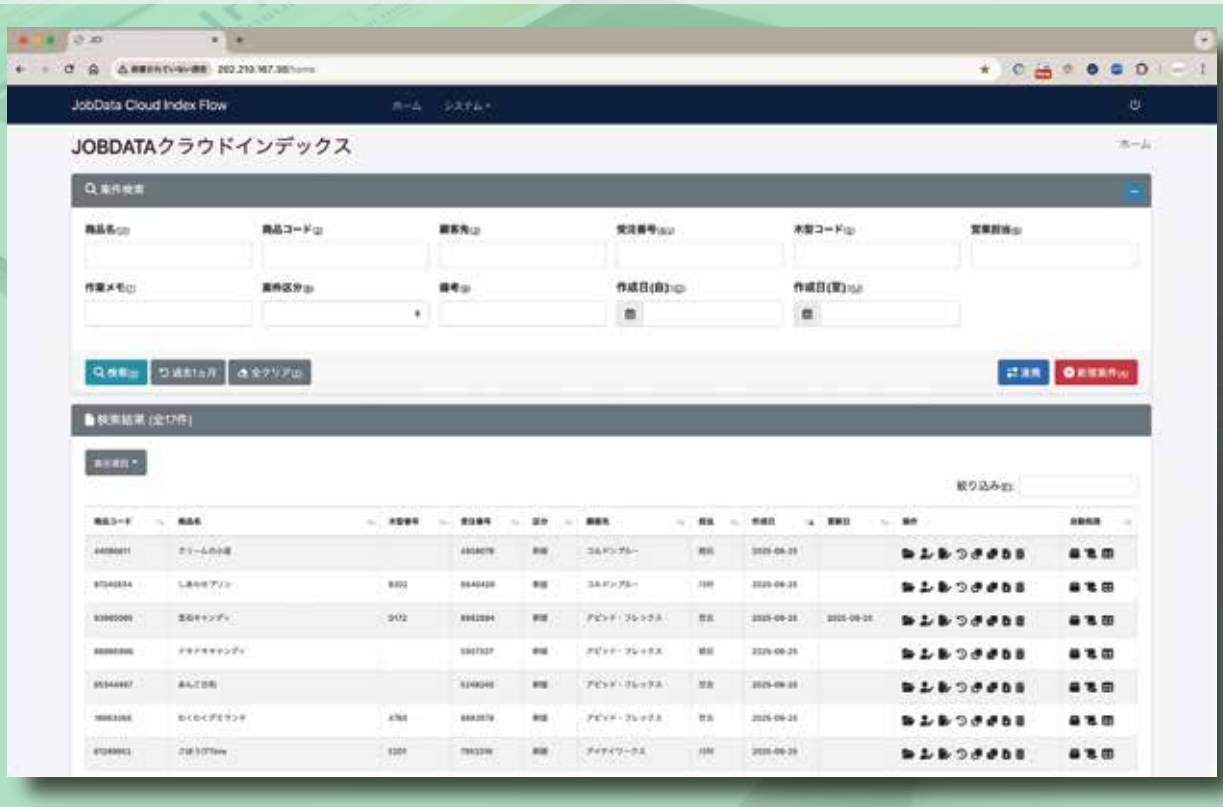
「ジョブデータクラウドインデックス」

AVID FLEX
アビッド・フレックス株式会社

JOBDATA CLOUD INDEX

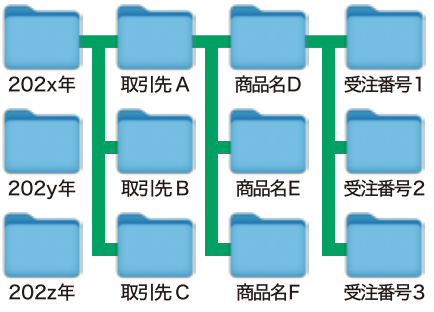
今ある保管環境をそのまま簡単にデータベース化

Jobdata Cloud Index（ジョブデータクラウドインデックス）は、これまでに無かった
パッケージ業界向けジョブのデータベースシステムです。
現在お使いの NAS などのストレージに保管されているデータ構造を読み取り、そのまま
データベース化してインターネットブラウザで管理できるようになります。
検索の高速化や操作が容易になるだけでなく、改版における旧データ使用のリスクの低減
や作業指示書には無い製版管理における重要な情報の記録にもご利用いただけます。



現在のフォルダ構造をそのままデータベース化

既存フォルダ構造



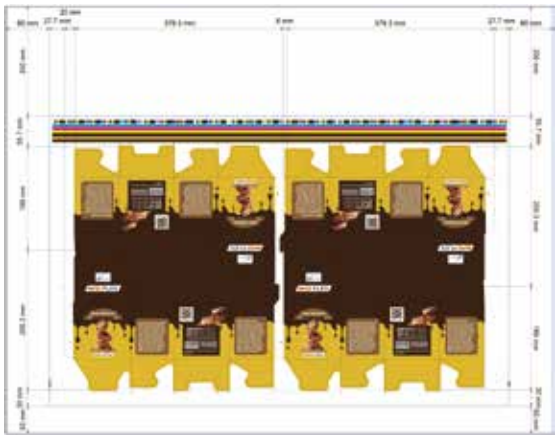
取引先Aの○月から△月までのジョブ一覧

どんな検索条件でも瞬時に表示が可能です

PackFlow との連携でさまざまなパッケージ業界の自動化も可能

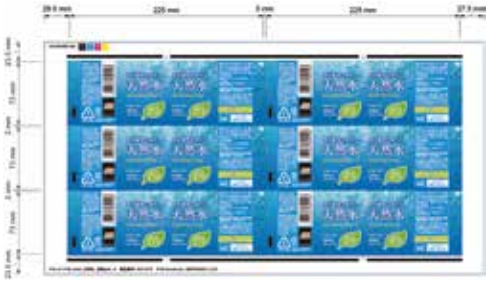
紙器 オフセット

印刷機（プレートサイズも含む）やジョブファイルおよび木型ファイルを設定するだけで自動面付けが可能になります。
Pack#/PackFlow であれば、事前に面付け番号位置を指定することで、面付け番号も自動で付与します。
そのほかにも、印刷機メーカーから指定の固有マーク（見当マークやカラーバーなど）ならびにベタ帯なども自動配置できます。



シールラベル 樹脂凸版 / オフセット / フレキソ

縦横の送り方向や丁数、印刷機などの情報によって自動面付けが可能です。
また、ジョブの仕上がり寸法をアートボードに合わせておけば、ドブや塗り足しも正確に制御します。他にも樹脂凸版やフレキソ版における縮小処理にも対応します。



軟包装フィルム グラビア

縦横の丁数や印刷機などの情報を入力するとトンボや色玉、オリジナルの印刷マークも含めすべてのアクセサリーを全自動で配置、面付けが可能です。
Pack#/PackFlow であれば、事前に刷り順を設定しておくことで、インクの順番だけでなくインク名も含めた配置もできます。
さらに、校正用一丁データのさまざまな情報（担当者や日付など）を加えたテンプレートも作成することで「青焼きデータの作成」も完全自動化できます。

あらゆる基幹システム・業務システムとも連携が可能

連携

JobdataCloudIndex の「連携」機能は、基幹システムや業務システムから発行される作業指示内容を受け取り、データベースに反映できます。
これにより **作業者は何も入力することなく** 自動処理が可能になります。

CSV XML ODBC API → JOBDATA CLOUD INDEX

JOBDATA CLOUD INDEX

ジョブデータクラウドインデックスの基本機能

基本機能

・フォルダ構造解析

既存のストレージからフォルダ構造を読み取り、自動でデータベースを構築します。

・フォルダ管理アプリケーション連携

検索画面からエクスプローラー（Windows）や Finder（Mac）の当該フォルダを開きます。

・PackFlow®連携

自動製版システム「パックフロー」との連携により自動製版処理が可能になります。

・業務システム連携

業務システムから CSV、XML、ODBC 接続、API など様々な形態に併せて連携が可能です。

・項目カスタマイズ

業務システムにある項目や、追加したい項目を自由に設計できます。

・フォルダメンテ

不要ファイルの削除を行うための機能です。
※ファイルの削除を行うには Windows が必要です。

Windows 用フォルダメンテナンスアプリ動作環境
・対応 OS：Windows10 Pro / Windows11 Pro

Mac 用フォルダオープンアプリ動作環境
・対応 OS：macOS 10.13（High Sierra）以上

JOBDATA CLOUD INDEX この製品に関するお問い合わせは・・・

AVID FLEX
アビッド・フレックス株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-13 丸美屋ビル3F
TEL：03-5524-7744 FAX：03-5524-7745
ホームページ https://www.avid-flex.co.jp
E-mail avidflex-sales@avid-flex.co.jp

■開発 アイケイワークス株式会社

※ その他、記載されている商標名は各社の登録商標または商標です。
※ 本カタログに掲載された製品の仕様は改良のため予告無しに変更されることがあります。